

沖縄県地域公共交通協議会 第2回協議会

本日の論点及び今後の進め方（案）等

令和5年11月29日

沖縄県 企画部 交通政策課

1. 第1回協議会での主な意見

- 池田委員
- ・鉄軌道は本計画の中で位置づけていただきたい。
 - ・**地域のフィーダー交通**の整理の枠組みはどう考えているのか。
- 神谷委員
- ・住む場所も広がっている中で、**公共交通軸をきちんと作ることが重要**で、そこに住む場所、働く場所を考えていく必要がある。
 - ・那覇市内の駐車場利用料金も安いと感じる。**駐車場政策や都市計画**も、地域公共交通計画の中で関連することを認識しながら議論することが重要である。
 - ・地域の移動を考える際は、個別議論ではなく、**市町村や各事業者が自分たちに何ができるか一緒になって議論**することが重要である。
- 中村会長
- ・大きな商業施設整備に伴うものや、**小さな人の動きの変化に対して、バスは素早く対応できる特性**はあるが、その際必要な**財源や合意形成プロセス**が生じるため、そこを**考えていく場が本協議会**となる。
 - ・その時に、こういうやり方で、**少しずつ皆さん汗をかけば、こういうことができるという議論は必要**となるため、今後計画に盛り込んでいく中でも考えていくことが重要である。
- 小川委員
- ・路線バス運転者不足に関しては、二種免許取得者が少ないため、新規採用者数が増加することが必要となる。このため**二種免許取得にあたっての職業訓練や取得を支援するような取組をお願い**したい。
 - ・沖縄県、各市町村にご協力いただき、**公共交通を利用していただく施策を是非お願い**したい。
 - ・**交通結節点**については、事業者を含め色々取り組んでいるが、**関係市町村のご協力・ご理解を是非お願い**したい。
- 谷田貝委員
- ・**観光客がレンタカー**で沖縄観光することが、沖縄県の持続可能性やSDGsを考えると好ましい姿なのかどうかと考える。レンタカーについても、駐車場同様に**上手くマネジメントするような視点**で今後議論できればと思う。
- 星委員
- ・現在リ・デザインの考え方を実装すべく、その取組を進めており、DX、GX等とあわせて地域の持続可能性や地域社会の生活の質の向上が図れるよう実現していくとの考え方である。
 - ・これから**本当に質の高い社会を実現していく上では**、事業者や地域の方々が抱える課題を交通セクターの中だけで解決させるのではなく、**都市の機能、産業の基盤を含める形で持続可能性を高めていくことが必要**と考えている。
- 中村委員
- ・今後具体的に議論していくと、**財源の話は必ず出てくる**が、**関係者の合意形成が重要**となる。国、県、各市町村を含め多くの方々が、非常に意識高く取組を始めていただいているこの流れを生かして、**関係者がどうやって一緒に取り組むかをもう少し具体的に踏み込んでいくことが重要**になる。
 - ・**エリア一括協定運行事業や、協議運賃制度の創設なども制度**もある。多くの課題や様々な意見に関して、**新しいアイデアを組み合わせてこの計画に盛り込むことができれば、実現できる非常に良いチャンス**でもある。

2. 本日の論点と今後の進め方（案）

- **第2回協議会**では、課題や目標を踏まえた中での、**具体的な施策・事業を中心に、計画（素案）について協議**いただく予定。
- 第2回協議会でのご意見を踏まえた計画（素案）まとめ、**年明けにパブリックコメントを実施**する予定。
- **第3回協議会**は、**R6.3.21に開催を予定**しており、パブリックコメントを踏まえた**計画（案）を協議**いただく予定。

R5.7.18 → R5.11.29 → R6.1～2月 → **R6.3.21** → R6.4以降

